

2、介護施設と病院と サービスホームの併設施設

- a) 介護施設： イルタルシコ
(Outokummun Vanhainkoti / Iltarusko)
34名入所（主に認知症患者）
ショートステイあり
- b) 病院： ホペアクーシ(Hopeakuusi)
感染症関連・内科・眼科・皮膚科など
- c) サービスホーム： クントラ(Palvelukoti Kuntola)
自治体による昼食サービス・住宅・レンタルサービスなど

介護施設： イルタルシコ



デイルームからガーデンが見え、
外気浴を楽しんで談笑する姿が
見える



セラピスト

元看護師。セラピストの資格を取り、現在はセラピストとして働いている。

フィンランドでは、国家資格を持った人がセラピストの学校で学び、公認セラピスト資格を得てセラピストになる。



介護施設の外気浴



寝たきりの入所者

ナースがテラスにベッドのまま移動させ、1時間くらい外気浴をさせる。

天気のいい日はほぼ毎日希望する。 93歳。

病院：ホペアクーシ (Hopeakuusi)



併設病院へは、廊下で繋がっている。



アートセラピーで作った患者の作品 病院玄関

アートセラピストの作品「人の一生」 玄関



寝たきり病棟



窓が広く、窓には花が置かれている。明るい。



寝たきり病棟のセラピスト

セラピスト



セラピストが週1回1時間、ガーデン散歩(外気浴)をする。
介護士が車椅子に移乗し、
外気浴の準備を手伝う。



セラピー室と 作品



c) サービスホーム： クントラ (Palvelukoti Kuntola)

- 昼食サービスの食堂と厨房（在宅ケアで昼食サービスを受けることができる）
- 看護・夜間のケアなどのサービスは専門家によって行われる
- クライアントは料金を支払う
- 現在10名のクライアントが利用

